

令和4年度 学校評価報告書 【大洲市立肱東中学校】

教育目標『自ら学び、心豊かに、未来をしなやかに生き抜く生徒を育てる』

- 経営の重点
- 確かな学力の定着と表現力の育成
 - 自己有用感としなやかな感性の涵養
 - 認め合い支え合う人間関係づくり
 - 地域に開かれた温もりのある学校づくり

[評定 A：順調 B：概ね順調 C：あまり順調でない D：順調でない]

区分	具体的事項	取組・評価結果	○成果 ●改善	評価委員の意見	評定
教育課程・学習指導	分かりやすい授業	○生徒が「主体的・対話的で深い学び」を実感できる授業を目指した。	○ICT機器の活用により、生徒の理解度が高まるとともに、多様な意見の整理と可視化や思考の深化を進めることができた。 ●家庭学習について、個別に指導方法を工夫する必要がある。	・教育活動の基本となる学習活動について、学校の努力が分かる。 ・個に応じた指導の観点から、特別支援教育について知る機会があるとよい。	B
	思考力・判断力・表現力の育成	○小テストや宿題の見取りを丁寧に行い、基礎学力の定着を図った。			
	家庭学習の習慣化	○ICT機器を積極的に活用し、学力の向上と学びの多様化に努めた。			
	個に応じた指導	教職員の肯定的評価 (93) % 生徒の肯定的評価 (84) % 保護者の肯定的評価 (70) %			
生徒指導	登校することが楽しみな学校づくり	○生徒主体の行事等を設定した。	○家庭と学校における悩みを相談できる人間関係が構築できている。 ○生徒の変容に気付き、迅速な対応ができた。 ●一人一人が活躍し、充実感を味わうことのできる活動の場をつくる。 ●道徳教育の研修に努め、授業力向上を図る。	・生徒の変容を見抜いて対応し、職員間の連携が取れている。 ・毎月の主任児童委員連絡会を生かし、今後も学校と地域が一体となった取組を続ける。	B
	信頼関係づくり	○生活調査、教育相談、普段の観察を元にした生徒理解に努め、職員朝礼による情報交換を行った。			
	自己肯定感の育成	○豊かな人間関係を基盤とした生徒会活動の活性化を図るとともに、道徳教育の充実を努めた。			
	道徳教育の充実	教職員の肯定的評価 (93) % 生徒の肯定的評価 (82) % 保護者の肯定的評価 (81) %			
健康・安全管理	安心・安全な環境づくり	○安全点検や日々の観察により、不備があれば、早急に対応した。	○ルールを守り、安心・安全な学校生活を送ることができた。 ●地区防災会や家庭等と連携を取りながら、工夫した避難訓練を行う。 ●挨拶への意識と実践力を高め、社会の中で生きる力を育む。	・生徒、保護者共に肯定的意見が90%以上あり、健康面や安全面について高い評価を得ている。 ・挨拶はできるが、声の大きさなどの個人差を感じた。	A
	ルールを守った学校生活	○学期ごとの避難訓練や救命救急講習を実施し、自助・共助について理解する場を設けた。			
	心と体の健康づくり	○登下校指導やPTA 校外指導部との連携によるパトロールを行った。			
	交通マナーを守った登下校	教職員の肯定的評価 (86) % 生徒の肯定的評価 (93) % 保護者の肯定的評価 (92) %			
保護者・地域との連携	情報発信	○教育活動についての広報を、通信やホームページで行った。	○通信やホームページを利用して教育活動の情報発信ができた。 ○保護者と連携し、心と体の健全育成ができた。 ●コロナ禍も影響し、地域と連携した活動が弱くなっている。地域理解を進めるための活動を工夫したい。	・各種通信やホームページを利用して教育活動の情報発信ができています。 ・学校と地域共に忙しく、なかなか接点がない。先進校の取組を研究してほしい。	A
	開かれた学校づくり	○毎週水曜日の地域・保護者・生徒会によるあいさつ運動を行った。			
	相互理解	○コロナ対応について、文書やマチコミを併用しながら、できるだけ早くお知らせするようにした。			
	公共心の育成	教職員の肯定的評価 (100) % 生徒の肯定的評価 (83) % 保護者の肯定的評価 (86) %			
その他	キャリア教育の充実	○縦割りブロックの体育大会や生徒主体の人権まつり、茶摘み等、生徒が考え実行する活動を展開した。	○生徒主体の活動や職場体験学習を実践することができた。 ●今後の部活動の在り方について、地域や行政(市教委)と連携した長期的な見通しが必要である。	・行事を観ても、生徒はよく育っており、主体性を感じる。 ・部活動の地域移行について詳しく知りたい。	A
	行事への取組	○全員所属の専門委員会を行った。			
	部活動への取組	教職員の肯定的評価 (100) % 生徒の肯定的評価 (94) % 保護者の肯定的評価 (90) %			
	生徒会活動への取組				
総括	制限がある中での学校生活となったが、保護者や地域の方々の献身的な協力により、生徒は充実感を持って活動できた。今後、更に学校・家庭・地域との協力体制を整え、生徒の生きる力を育てていきたい。				

